



日本のバイエル 会社案内

Bayer in Japan

 *Health for all, Hunger for none*



Health for all, Hunger for none

すべての人に健康を、飢餓をゼロに

私たちは、より良い世界を実現できると信じています。
それは、誰もが健康と食糧にアクセスでき、科学とイノベーションが
人々と地球の繁栄を支える世界です。

バイエルは、医療と農業のライフサイエンス分野を中核とするグローバル企業です。
私たちは、世界が直面する最も大きな課題に取り組むため、そして健康と食糧という最も基本的な
人々のニーズを満たすために、製品やサービスを生み出しています。

バイエルは160年以上の歴史を有するグローバルカンパニーです

私たちのソリューションを通し、全世界に貢献しています

創業以来、160年以上にわたり、バイエルは常に人々にイノベーションを届けてきました。現在、全世界で92,800人以上の社員が、80か国における291の連結子会社で事業を展開し、ヘルスケアと農業の分野でソリューションをお届けしています*。



世界の沿革



- 1863** F.バイエルとJ.F. ヴェスコットによりヴッパータールに会社設立
- 1912** 本社をレバクーゼンに移転
- 1951** ファーベンファブリケン・バイエル社として再建
- 2005** ランクセス社がバイエルグループから分離独立
- 2006** シェーリング社(ベルリン、ドイツ)を買収
- 2014** 米国メルク社のコンシューマーケア事業を買収
- 2015** 素材科学事業グループを新会社「コベストロ」として分離
- 2018** モンサント社買収

日本の沿革

- 1886** 赤色直接塗料ベンゾパープリンが日本に輸入される
- 1911** 「フリードリヒ・バイエル合名会社」を全額出資子会社として設立
- 1927** 医薬品、農業を扱う「バイエル・マイステル・ルチウス薬品合名会社」を設立
- 1941** 資本・技術提携により「日本特殊農業製造株式会社」を設立(農業製造)
- 1969** 共同出資により「住友バイエルウレタン株式会社」を設立(MDI製造)
- 1973** 武田薬品工業、吉富製薬の3社で「バイエル薬品株式会社」を設立
- 2001/2002** アベンティス クロップサイエンス社買収「バイエル クロップサイエンス株式会社」を設立(日本バイエルアグロケム株式会社とアベンティス クロップサイエンス シオノギ株式会社を統合)
- 2005** ランクセス社がバイエルグループから分離(日本では「ランクセス株式会社」が独立)
- 2006/2007** シェーリング社買収、バイエル薬品株式会社が「日本シェーリング株式会社」を事業統合
- 2016** 素材化学事業の分離によりライフサイエンスカンパニーとして組織再編
- 2018** 滋賀工場が創立40周年、防府工場が創立50周年を迎える
- 2020** 日本モンサント株式会社の事業を統合

社員数
92,800人

80か国
における291の
連結子会社

研究開発費
62億ユーロ

*2024年度 世界全体のデータ

全世界での事業展開*

「Health for all, Hunger for none - すべての人に健康を、 飢餓をゼロに」 の実現に向けて

ヘルスケアと農業という独自のビジネスモデルを持つライフサイエンス企業として、意義の高いイノベーションを生み出し、人々により価値をもたらすため、私たちは進化を続けています。

医療用医薬品

ブレークスルーを患者さんへ

循環器・腎・代謝領域、オンコロジー領域、眼科領域などのスペシャリティ領域にフォーカスし、革新的医薬品の提供を通じて高齢化が進む日本の患者さんの健康寿命の延伸とQOLの向上に努めています。画像診断領域では、デジタル技術を活用したソリューションプロバイダーとして、医療の現場と患者さんの生活に変革をもたらしています。

注力領域



循環器・腎・代謝領域

イノベーションリーダーとしてポートフォリオを充実させることで、革新的医薬品をお届けできるよう長年にわたり取り組んでいます。



オンコロジー(がん)領域

大腸がん、前立腺がん、希少がんなどに対して分子標的治療薬やアルファ線を使用した全く新しい治療薬を提供しています。



眼科領域(網膜疾患)

欧米や日本で増加している滲出型加齢黄斑変性などの網膜疾患の治療薬で患者さんの視力を守り、質の高い日常生活の継続をサポートしています。

イノベーション

バイエルの原動力-それは、患者さんの生活をより良いものにすることです。バイエルは偉大なサイエンスの力で社会に価値あるインパクトをもたらすヘルスケアイノベーションの創出に注力しています。

アンメットニーズの高い疾患領域に フォーカスした研究開発

循環器疾患、オンコロジー、神経・希少疾患、免疫疾患などの4つの疾患領域にフォーカスし、細胞遺伝子治療などの先端医療を含む次世代の有意義な新薬を開発し、画期的なイノベーションをもたらしています。



循環器・腎臓



オンコロジー



神経・希少疾患



免疫疾患



デジタル技術を活用した 画像診断のソリューションを提供

線量管理システムなどのソフトウェアを提供するとともに、患者さんの診断や治療に関わるさまざまなフローにおいて、システムの統合、最適化までを可能にするデジタルプラットフォームの開発にも取り組んでいます。

アカデミア・スタートアップとの提携による、 創薬エコシステム醸成への貢献

世界中の主要なイノベーションホットスポットに「Co.Lab」を設置しローカルエコシステムを積極的に形成することでアカデミアやスタートアップ企業を支援しています。全世界4拠点の1つが日本の「Co.Lab Kobe」で、グローバルネットワークの一部として、サイエンスイノベーションや社外とのコラボレーションを促進するためのメンタリングプログラムやグローバルサポートプログラムを提供しています。



赤ちゃんの「人生最初の1000日」に 適切な栄養を届けるために

コンシューマーヘルス部門では、赤ちゃんの「人生最初の1000日」に適切な栄養を届けるため、女性の妊娠前から妊娠期間及び産後・授乳期を通じて栄養をサポートするサプリメントに注力しています。また、生誕110年以上の解熱鎮痛薬「バイエルアスピリン」、アレルギー性疾患治療剤や膈カンジダ抗真菌剤を通じ、人々のQOL向上に努めています。



2歳までの栄養が、子どもの基礎となる。
生涯で一番大切な「人生最初の1000日」をサポートするエレビット®ブランドファミリー



より良い収穫を、さらに環境再生を

環境とヒトにより調和した農業とその使用法の開発に加え、個々の農家さんのニーズに応える生産性向上と持続可能性の両立を実現するテーラーメイド・ソリューション、さらにはリジェネラティブ農業の実現を推進しています。サステナビリティは私たちの事業と密接に連動しています。環境への負荷を減らしながら農家さんの収益向上に貢献し、日本の農業を持続可能にするソリューションの提供に注力しています。



最適な農薬とその使用法

より環境やヒトに調和した農業とその使用法を開発することで革新的製品を農業の現場にお届けしています。また、ドローンなどのデジタル技術を活用した精密散布を通じて環境負荷・作業負荷を低減しています。作物本来の機能を高め、収量や品質の向上に貢献するバイオスティミュラント肥料も提供しています。

テーラーメイド・ソリューション

デジタル技術を活用し、水田における雑草や病害虫の発生にあわせ最適な有効成分、量の処方提案を実現。個々の農家さんのニーズに沿った可視化された圃場マネジメントによる新たな選択肢を提供します。



Co-Creation – 共創を通じて農業を次の世代へ

長年にわたる日本の農業に対する知見をベースに、各分野で専門性を有する企業や団体とのパートナーシップを通して、新たな価値創出を加速し、リジェネラティブ農業を推進しています。

持続可能性はバイエルの 核心的要素です。 私たちのカルチャーは 次なるイノベーションを生み出す 源泉です

持続可能な開発への貢献は、バイエルの企業戦略およびコアバリューの核心的な要素です。「Health for all, Hunger for none - すべての人に健康を、飢餓をゼロに」をミッションに、人々と地球が繁栄できるよう、世界中のすべての地域の人々に医療アクセスと食料安全保障を提供し、環境保護の解決策を提示する、インクルーシブな成長と限られた資源の責任ある利用を推進しています。

全世界における2030年に向けた目標

クロープサイエンス

LMICsにおける1億人の
小規模農家を支援



医療用医薬品

LMICsにおける1億人の
女性の現代的な避妊法への
ニーズを満たす



コンシューマーヘルス

経済的・医療的に十分な
サービスが行き届かない
地域の1億人にセルフケア
支援を提供



LMICs: 低中所得国

日本の注力領域

農業とヘルスケアにおける専門性を生かし、私たちは事業を通して日本の持続可能性の実現貢献しています。

温室効果ガスの排出削減

環境負荷の削減

ヘルスケアへのアクセス



生産施設における温室
効果ガスの排出削減



デジタル技術活用による
環境・人への負荷削減



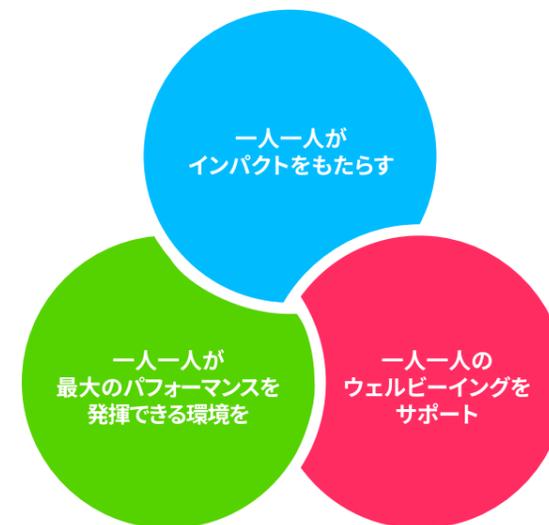
次世代の農業者
育成支援



疾患啓発・支援活動

一人一人が才能を発揮することが私たちのカルチャーを形づくりま

社員がそれぞれのタレントを生かし、互いに学び成長し、視野を広げることで、アイデアを現実の可能性に変えていくことができる。私たちは信じています。このことは私たちが持続可能な社会の実現に貢献する礎となります。



オーナーシップをもち患者さん、農家さん、消費者の皆さんに、より価値を届けることにフォーカスしています。

フレキシブルな働き方を推奨し、最大限のアウトカムを生み出す環境を提供しています。

私たちのミッションは社員のウェルビーイングにも適用されます。心と体の健康、生活の豊かさは基本となります。

日本のバイエル各社

バイエル ホールディング株式会社

〒100-8268
東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビル
Tel. 03-6266-7010
<https://www.bayer.jp>



バイエル薬品株式会社

〒530-0001
大阪市北区梅田2-4-9 プリーゼタワー
Tel. 06-6133-7000
<https://www.pharma.bayer.jp>



バイエル クロップサイエンス株式会社

〒100-8262
東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビル
Tel. 03-6266-7007
<https://cropscience.bayer.jp>



バイエル ライフサイエンス株式会社

〒530-0001
大阪市北区梅田2-4-9 プリーゼタワー
Tel. 06-6133-7600
<https://www.bayer.jp/bayerlifescience>



開発・生産施設

① 滋賀工場 (医薬品の製造)

バイエル薬品株式会社 滋賀工場
〒520-3493 滋賀県甲賀市甲賀町烏居野121-1 Tel. 0748-88-5660

② 防府工場 (農薬の製造)

バイエル クロップサイエンス株式会社 防府工場
〒747-0825 山口県防府市新田築地2061 Tel. 0835-22-6307

③ 開発センター

バイエル クロップサイエンス株式会社
〒307-0001 茨城県結城市結城9511-4 Tel. 0296-54-4120

④ 西日本圃場試験室

バイエル クロップサイエンス株式会社
〒783-0005 高知県南国市大桶乙2549 Tel. 088-863-3552

